

レビューシート（指標点検型）

様式2

レビュ項目 (事業名)	人権インクルーシブ推進事業 (旧事業名：人権ダイバーシティ推進事業)	部(局)	県民生活部						
		所管課	総務課人権推進室						
		担当班	人権推進班						
		連絡先	078-362-9135						
開始年度	令和6年度	終了年度	一	関連計画等	一				
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県人権啓発協会			
事業目的	LGBT理解増進法が施行(R5.6月)され、自治体にはさらなる取組が求められている。性的マイノリティが直面する生活上の困難や生きづらさを解消するため、相談窓口の開設やパートナーシップ制度の運用に加え、性的マイノリティを含むすべての県民が働きやすい環境づくりを推進する。								
事業概要	①性的マイノリティの理解増進の取組 ・パートナーシップ制度の運用 ・LGBT出前講座の実施 ②性的マイノリティに関する相談の実施								
令和7年度 当初予算	2,204千円	(国庫)	0千円	(特定)	0千円	(起債)	0千円	(一般) 2,204千円	
評価指標	指標名	6年度 見込	7年度 目標	8年度 目標	最終目標 【年度】	設定の考え方			
	成果指標(アウトカム指標①) LGBT専門相談解決率(%)	66	70	70	70	【設定の考え方】 支援団体スタッフによる専門相談により相談者の問題解決 【目標数値の考え方】 先行実施する近隣自治体の実績約65%を上回る目標を設定			
	成果指標(アウトカム指標②) LGBT専門相談件数(件)	84	100	100	100	【設定の考え方】 支援団体スタッフによる継続的な専門相談実施 【目標数値の考え方】 週1回開催(約50回/年)で各回2名の相談実施			
	成果指標(アウトカム指標③) LGBT出前講座参加者数(人)	1,671	1,700	1,700	1,700	【設定の考え方】 出前講座による理解増進 【目標数値の考え方】 令和6年度実績並			
	活動指標(アウトプット指標①) LGBT出前講座開催回数(回)	10	10	10	10	【設定の考え方】 学校や民間企業等に専門スタッフを派遣し学習の機会を提供 【目標数値の考え方】 令和6年度実績並			
	活動指標(アウトプット指標②) パートナーシップ制度に関する行政サービス(提供数)	244	263	282	300	【設定の考え方】 本制度により利用できるサービスの拡大 【目標数値の考え方】 令和6年度に提供数を300に拡大			
	終期設定	有()				・	無		
	改善基準								
外部委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> アウトカム指標の「解決率」について、算定の考え方が相談対応者の主觀に基づいており、実態と乖離する可能性がある。解決の判断は相談者自身による評価が必要であるため、相談者に事後アンケート等を実施し、アンケート結果に基づく評価へ変更が望ましい。 相談者による満足度(例:5段階評価)の平均値をアウトカム指標にしてはどうか。 相談件数の減少傾向があり、背景にはAIへの相談の増加も関係している。そのため「相談件数の延べ数」をアウトカム指標に設定してはどうか。 当事者の質問に対しては難しいが、一般的なQ&Aでも当事者以外の支援者にとっては有効的であるため作成していただきたい。 学校だけでなく、庁舎などで誰でも参加できる出前講座を開催し、当事者以外の周囲の人の理解促進にもつなげていただきたい。 当事者への直接的アプローチとして、出前講座の開催回数、広報回数、企業交流会の実施回数など、県の具体的な行動を指標化するともに、アウトカム指標として出前講座の参加者数や企業交流会での取り組み創出数も設定してはどうか。 県が直接行う環境づくりとしては、パートナーシップ制度の認定件数等をアウトカム指標として設定してはどうか。また、企業や学校などへの働きかけによる環境整備として、パートナーシップ制度に関連する行政・民間サービスの提供数や、自治体との打ち合わせ回数、Q&Aの整備件数もアウトプット指標として活用してはどうか。 								
	見直し結果								
	<ul style="list-style-type: none"> アウトカム指標①LGBT相談解決率について、電話相談であるため相談者の事後アンケート聴取や満足度調査は難しいが、外部委員からの意見を踏まえ、解決率の評価が対応者の主觀に左右されないよう、対応結果を類型化して相談記録様式に記載し選択する形式に改めるなど、より客觀性を持った評価となるよう見直す。 外部委員会意見を踏まえ、相談件数の延べ数をアウトカム指標に設定する。 外部委員会意見を踏まえ、一般的なQ&Aとして、「よくある相談事例」を令和8年度に作成する。 出前講座について、学校関係以外への広報も強化し、参加者の拡大に努める。 外部委員会意見を踏まえ、アウトカム指標に出前講座の参加者数を追加する。 外部委員会意見を踏まえ、制度に関連する行政サービスの提供数をアウトプット指標として追加する。 								